

特別企画

SDGsに取り組むクラブと協議会

NPO法人見附市総合型地域スポーツクラブ ＜新潟県見附市＞

現在、日本でも話題の一つとなっているのが「持続可能な開発目標(SDGs)」です。企業や個人でもすでに取り組んでいる人は多いのではないのでしょうか。スポーツがSDGsに貢献できることは多く、国では地域や自治体の取り組みに大きな期待が寄せられています。

今回は、先行事例となるよう、総合型クラブとSDGsの関係について考え、取り組みを行うクラブをご紹介します。

★SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地域上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものである。

(外務省HP: JAPAN SDGs Action Platformより抜粋)

1 クラブ概要

「健幸」を願い、子ども向け18教室、大人向け22教室を展開

当クラブは新潟県のへその辺りにあります見附市で活動しています。平成20年3月に設立し、平成24年12月からはNPO法人になりました。現在、541名の教室会員の皆さんが日々さまざまな運動・スポーツに取り組んでおられます。

子ども向け18教室、大人向け22教室を開催しております。運動あそびやランニング教室、ヨガや健康体操、エアロビクスなど多種多様な教室を、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行っています。

事務局はクラブマネジャー1名、アシスタントマネジャー1名で実務にあたっております。日々、見附市民の健幸※を願いながら、クラブ運営に努めています。

※健幸(けんこう)＝体の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態



中学生、硬式野球教室



高齢者向け、元気アップ教室

2 市と共にSDGsについて考える

見附市はSDGs17目標のうち9目標に取り組む

見附市では、SDGsの17の目標(下記参照)のうち、その中の9つの目標(3・4・7・8・11・12・13・15・17)に取り組んでいます。これら9つの目標は、今までのまちづくりの中で日常的に実践されているものですが、更に充実するよう努めていきます。見附市のSDGsの取り組みの根幹は「スマートウェルネスみつけ」の中の「歩いて暮らすまちづくり」です。当クラブとして、「いつまでも元気に歩ける体づくり」を意識しながら多くの教室を開催しており、運動・スポーツの観点から持続可能な世界の実現に参画できることはないかと考え、同取り組みに賛同しております。

●見附市のSDGs(エスディージーズ) (同市ホームページから)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

根幹は「歩いて暮らすまちづくり」

当クラブとして具体的には、会員さんが教室に参加される際に、自宅から歩いてその教室の会場に行けるような範囲に会場を設定しています。市内体育施設をはじめ、公民館や文化ホールなど、会員さんの身近にある施設を使わせてもらい、教室を開催しています。地方においては、交通の足は車に頼りがちです。歩いて参加できる教室を意識し、企画開催をしています。

また毎年秋に実施されている「みつけウォーキングまつり」(主催:見附市、NPO法人見附市スポーツ協会)の運営協力をしており、当クラブの会員さんも多く参加しています。

歩いての教室参加に好反響 市からは感謝の声

教室に関しては、天候の良い日など徐々にではありますが、歩いて教室に参加される方が増えてきています。参加者の皆さんからも「家を出た時から教室が始まっていると思い、意識的に歩いています。教室中も講師の先生が体を整えるコンディショニングを教えてくださいるので、疲労も軽減できているのではないかと思います。元気で長生きしていきたいので、頑張っています」などの声をもらっています。

また、秋のウォーキングまつりに教室単位で参加されているところもあり、その教室に参加されている88歳の男性は「毎年、一番短い距離(約3km)をしっかりと元気よく歩けるようにしたいと思っています。そのために、日々の教室で運動を頑張っていきたいと考えています」と感想を語ってくれました。

また、見附市からは、「ウォーキングまつりを通じて、市民全体に歩くことの大切さを感じてもらえる良い機会となって、とても助かっています」と言ってもらっています。

SDGsを通じて見附市としては、次の3つが特に大切であると考えられています。

- 持続可能性の取り組みは、無理をせず日常的に取り組めるものとする
- 地域を共に良くしたいと思う、市民同士の協調性を大切にする
- 分野の垣根を超え、総がかりでの取り組みとする

当クラブとしても、SDGsの取り組みを牽引する大学機関(全世界で17大学のみ任命)として、国連から日本で唯一の認定を受けている長岡技術科学大学との連携も検討しながら、様々なことに挑戦することで、現在だけでなく未来も見つめて、全世代で持続可能な世界・見附をつくれるように取り組んでいきたいと思っています。

長岡技術科学大学との連携については、大学施設を活用したイベント開催(ウォーキングなど)や小学生を対象にしたSDGs教育授業(運動・健康を絡めたもの)などを検討していますが、大学との協議はこれからとなります。



ウォーキングまつり
コンディショニング・ストレッチの指導



ウォーキングまつり
HIPHOPダンス教室の発表

3 より良い環境づくりに向け「3重点課題」に取り組む

見附市民の皆さんに、より気軽に、より楽しく運動・スポーツに親んでもらえる環境をつくるために、令和3年7月より、NPO法人見附市スポーツ協会と合併し新たなスタートを切ります。

子どもから大人・高齢者までの幅広い層の人たちが運動・スポーツにより親んでもらえるように取り組んでいきたいと思えます。その中で様々な課題がありますが、次の3点を重点課題として取り組んでいきたいと考えます。

1. 学校部活動の課題
2. 幼少期の運動量の確保
3. 高齢期における、運動・スポーツによる健康づくりや生きがいづくり

(NPO法人見附市総合型地域スポーツクラブ クラブマネージャー 関 林太郎)

クラブプロフィール

- 設立年月日** 平成20年3月23日(平成24年12月3日法人登記)
- 所在地** 新潟県見附市月見台1-9-1 見附市総合体育館内
- 運営** 会員数541名(令和3年3月現在)・予算規模2,160万円(令和2年度)
- 特徴**
- 子どもから高齢者の教室まで多種多様な教室を40以上も開催しています
 - 運動・スポーツ教室開催事業を中心に活動しています
 - 新潟県のへその部分にある「見附市」で活動しています
- 連絡先** 〒954-0034 新潟県見附市月見台1-9-1 見附市総合体育館内
- TEL 0258-62-3661 FAX 0258-62-1000
- URL http://www.mitsuke-sports.com/mitsuke_sports/
- E-Mail mikespo2008@gmail.com